

祝 東京2020パラリンピック・メダル獲得！！
パラリンピックメダリストへの表彰について

東京2020パラリンピックでは、県関係選手の皆さんの活躍は、3つの困難の中にある県民の皆様に大きな夢と希望を与えてくれました。選手の皆様を心から労いたいと思います。

中でも、素晴らしい成績を収めたメダリストの皆さんに、下記のとおり表彰を予定していますのでお知らせします。

記

1 表彰の種類、競技種目と対象選手名

表彰	競技・種目	成績	選手名
くまもと夢づくり賞	水泳 400m自由形	銀	富田 宇宙(32)
	水泳 100mバタフライ	銀	
	水泳 200m個人メドレー	銅	
熊本県スポーツ特別功労賞	車いすラグビー	銅	島川 慎一(46)
		銅	乗松 聖矢(31)
	ゴールボール女子	銅	浦田 理恵(44)

2 対象選手のプロフィール

- ・ 富田 宇宙（とみた うちゅう） 1989年2月28日生まれ（32歳）
出身地：熊本市 勤務先：EYJapan／日本体育大学大学院（学生）
チーム：日本体育大学大学院
水泳部だった高校2年の時に徐々に視野が狭くなる「網膜色素変性症」が判明。卒業後は、視覚障がいシステムエンジニアとして就労し、同時期にパラ水泳を開始。その後記録を更新し続け、2019年、世界パラ選手権では2つの銀メダルを獲得、東京2020パラリンピック日本代表へと成長した。
- ・ 島川 慎一（しまかわ しんいち） 1975年1月29日生まれ（46歳）
出身地：玉名郡長洲町 勤務先：パークレイズ証券株式会社 チーム：BLITIZ
21歳の時に交通事故により頸髄（けいずい）を損傷。車いすの生活に。
1999年に車いすラグビーに出会い、2004年アテネパラリンピックで代表入り。
東京パラリンピックまで5大会連続出場。前回リオ大会でも銅メダル獲得。
- ・ 乗松 聖矢（のりまつ せいや） 1990年4月2日生まれ（31歳）
出身地：荒尾市 勤務先：SMBC日興証券 チーム：福岡ダンデライオン
手足の筋力が徐々に低下する進行性の難病「シャルコー・マリー・トゥース病」を発症し、12歳から車いす生活を送る。16歳で車いすバスケットボールを始め、23歳の時に車いすラグビーに転向。前回リオ大会では最年少で出場し銅メダルを獲得。

- ・ 浦田 理恵（うらた りえ） 1977年7月1日生まれ（44歳）
出身地：玉名郡南関町 勤務先：総合メディカル チーム：九州なでしこ
20歳を過ぎ急激に視力低下し網膜色素変性症と判明。左目は視力はなし。右目も視野が98%欠損。教員の夢を断念し、鍼灸・マッサージの勉強を始める。
2004年にゴールボールを始める。2008年の北京大会から4大会連続出場。2012年ロンドン大会で金メダルを獲得し、くまもと夢づくり賞受賞。

<参考>

※過去の受賞者一覧は別添のとおり。

お問い合わせ先

熊本県知事公室秘書グループ

電話：096-333-2022

担当：井伊、永田

熊本県健康福祉部障がい者支援課

電話：096-333-2235

担当：西澤、永田

くまもと夢づくり賞

氏名	受賞年度	主な受賞理由
コヤマ クンドウ 小山 薫堂	H21.4.14	映画「おくりびと」で、日本初のアカデミー賞外国語映画賞受賞。テレビ番組などメディアを通じて「夢」溢れる作品を多く生み出してきた一連の業績と活動を評価。
ウラタ リエ 浦田 理恵	H24.10.18	ロンドンパラリンピックのゴールボール女子種目で金メダルを獲得。さらに、様々なハンディを乗り越え、自らの夢に挑戦するとともに、講演活動を通じて、夢を持つことの素晴らしさを多くの人々に伝えてきたこれまでの業績を評価。
九州学院高等学校剣道部並びに米田敏郎 監督	H29.2.28	剣道の公式大会において、4年連続春・夏連覇、併せて玉竜旗でも3年連続優勝という偉業を達成。熊本地震後の厳しい状況にあっても、部員の不断の努力と米田監督の卓越した指導力、部員と指導者の強い絆により、全国的にも稀に見る功績をあげたことを評価。
ムラカミ ムネタカ 村上 宗隆	R3.8 贈呈決定 (贈呈式未定)	東京オリンピック野球競技で最年少ながら全試合出場を果たし、金メダル獲得に大いに貢献。さらに、熊本城への寄附を続け、復興を後押ししている。オリンピックの活躍も含め、県民に大きな夢を与えている功績を評価。

熊本県スポーツ特別功労賞

氏名	受賞年度	名称	功績概要等
コバ タケシ 古葉 竹識	H11.9.10	熊本県スポーツ特別功労賞	野球殿堂入り等
クドウ ヤスコ 工藤 恭子	H12.12.9	熊本県障害者スポーツ特別功労賞	2000年シドニーパラリンピック卓球銅メダル
シマダ トシロウ 島田 敏郎	R2.2.26	熊本県スポーツ特別功労賞	2019女子ハンドボール世界選手権大会の招致から開催準備、大会運営に至るまで、常に先頭に立ち大会を大成功に導いた。

※ 熊本県スポーツ特別功労賞は、「熊本県特別表彰」のうち、スポーツ分野に関する功労賞で過去3人に授与。なお、「熊本県特別表彰」はスポーツ分野を含め、文化芸術分野や地域づくり分野等、これまで11人に授与。

(参考) 熊本県特別表彰

氏名	受賞年度	名称	功績概要等	備考
アルベルト・フジ モリ	H4.3.20	熊本県栄誉彰 (国際課)	ペルーと本県の国際交流に貢献。	
スズキ ケンジ 鈴木 健二	H6	熊本県特別賞	熊本県立劇場館長として本県の文化・芸術に貢献。	
コバ タケシ 古葉 竹識	H11.9.10	熊本県スポーツ特別功労賞	野球殿堂入り等	★
クドウ ヤスコ 工藤 恭子	H12.12.9	熊本県障害者スポーツ特別功労賞 (障害保健福祉課)	2000年シドニーパラリンピック卓球銅メダル	★
※非公表	H13.8	熊本県 ██████████ 特別功労賞	██████████ に貢献	
アラクワ ばってん 荒川	H18.12.19	熊本県地域文化特別功労賞 (文化企画課)	肥後にわかや演劇の普及発展、熊本県の情報発信。	
イオキベ マコト 五百旗頭 真	H30.3.30	熊本県特別功労賞	「くまもと復旧・復興会議」の座長として創造的復興の実現に向けた提言をまとめあげた。	
※非公表	H30.4.8	熊本県 ██████████ 特別功労賞	██████████ に貢献	
ニシカワ ミチコ 西川 通子	R1.5.20	熊本県産業振興特別功労賞 (産業支援課)	地域雇用の創出・産業振興及び熊本地震からの復興支援、国際交流、スポーツ振興等「県民総幸福量の最大化」に繋がる幅広い貢献。	
シマダ トシロウ 島田 敏郎	R2.2.26	熊本県スポーツ特別功労賞 (国際スポーツ大会推進課)	2019女子ハンドボール世界選手権大会の招致から開催準備、大会運営に至るまで、常に先頭に立ち大会を大成功に導いた。	★
コメタニ マサカツ 米谷正勝	R2.6.10	熊本県地域づくり特別功労賞 (地域振興課)	長年にわたり地域づくり活動に取り組むとともに、地域づくりを担う人材の発掘や養成に多大な功績を残すなど、本県の地域づくり活動の礎を築いた。	

※備考欄の★は熊本県スポーツ特別功労賞関係